

I 目指すべき社会

- 男女が個性と能力を発揮することによる、多様性に富んだ活力ある社会
- 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会

II 社会情勢の変化についての現状認識

■ 少子・高齢化の進展と人口減少社会の到来

- ・労働力人口の減少
- ・単身世帯・ひとり親世帯の増加
- ・地域社会における人間関係の希薄化

■ 経済の低迷と閉塞感の高まり

- ・デフレの継続・消費の低迷
- ・中国等のキャッチアップによる国際的なプレゼンスの低下

■ 非正規労働者の増加と貧困・格差の拡大

- ・不安定雇用者の増加
- ・「収入の安定した男性正社員」「誰もが結婚できる」といった前提の崩壊
- ・貧困の「世代間連鎖」の懸念

■ グローバル化と国際的な人の移動の増加

- ・定住外国人の増加
- ・企業の国際展開
- ・国際的な規範・基準と国内の制度・慣行の調和の必要

III 第3次男女共同参画基本計画の基本的考え方

1 基本的考え方

多様な生き方を尊重し、すべての人が職場、地域、家庭などあらゆる場面で活躍できるよう、身近な男女共同参画を進める

女性の経済社会参画促進により経済社会を活性化し、元氣な社会をつくる

すべての人が安心・安全に暮らせる社会とするため、男女共同参画の視点を重視した雇用・セーフティネットを構築する

上記の取組に当たっては、

- ・「男女共同参画」、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」、「子ども・子育て支援策」のそれぞれの施策との密接な連携を図る。
- ・国際的な規範・基準の取り入れなど国際的な協調を図る。
- ・実効性あるものとするため、できる限り具体的な数値目標を設定し、フォローアップを行う。

2 新たな視点

- ① 女性の活躍による経済の活性化
- ② 男性にとっての男女共同参画
- ③ 子どもにとっての男女共同参画
- ④ 生活困難を抱える人々への対応
- ⑤ 地域における身近な男女共同参画の推進

3 喫緊の課題

- ① 雇用・セーフティネット構築における男女共同参画の推進
- ② 実効性あるポジティブ・アクションの推進
- ③ 女性に対する暴力の根絶
- ④ より多様な生き方を可能にする社会システムの実現
- ⑤ 推進体制の強化

IV 重点分野

- ① 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
- ② 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革
- ③ 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保
- ④ 活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の確立
- ⑤ 生活と仕事と子育ての調和
- ⑥ 高齢者・障がい者が安心して暮らせる条件の整備
- ⑦ 女性に対するあらゆる暴力の根絶
- ⑧ 生涯を通じた女性の健康支援
- ⑨ メディアにおける男女共同参画の推進
- ⑩ 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実
- ⑪ 多様な視点による科学技術・学術の振興
- ⑫ 地域における男女共同参画の推進(地域おこし・まちづくり・観光、防災、環境)
- ⑬ 新たな視点による男女共同参画の推進(男性、子ども、生活困難、外国人)
- ⑭ 国際社会の「平等・開発・平和」への貢献

V 推進体制

第2次男女共同参画基本計画の構成

- 男女共同参画社会として目指すべき社会の将来像
- 重点事項
 - ① 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
 - ② 女性のチャレンジ支援
 - ③ 男女雇用機会均等の推進
 - ④ 仕事と家庭・地域生活の両立支援と働き方の見直し
 - ⑤ 新たな分野への取組
 - ⑥ 男女の性差に応じた的確な医療の推進
 - ⑦ 男性にとっての男女共同参画社会
 - ⑧ 男女平等を推進する教育・学習の充実
 - ⑨ 女性に対するあらゆる暴力の根絶
 - ⑩ あらゆる分野において男女共同参画の視点に立って関連施策を立案・実施し、男女共同参画社会の実現を目指す
- 重点分野
 - ① 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大
 - ② 男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革
 - ③ 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保
 - ④ 活力ある農山漁村の実現に向けた男女共同参画の確立
 - ⑤ 男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援
 - ⑥ 高齢者等が安心して暮らせる条件の整備
 - ⑦ 女性に対するあらゆる暴力の根絶
 - ⑧ 生涯を通じた女性の健康支援
 - ⑨ メディアにおける男女共同参画の推進
 - ⑩ 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実
 - ⑪ 地球社会の「平等・開発・平和」への貢献
 - ⑫ 新たな取組を必要とする分野における男女共同参画の推進
(科学技術、防災、地域おこし・まちづくり・観光、環境)

第3次基本計画の重点事項の考え方について(案)

